

平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	宮川
	全体計画			経費区分	-	内線	3007
事務事業名	4043 国際交流等事業						
所 属	050200 総務部・政策推進課						
施 策	07023800 多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費					
	事業	040000 国際交流等事業					
事業目的				事業概要・効果			
国際化の進展に伴い、友好都市との交流を深め、国際化に対応した人づくりを推進する。				平成6年度の中国吉林省四平市との国際友好都市の締結から21年経過し、親善交流事業として行っている友好訪問などは両市の友好と交流に寄与している。 また、様々な機会を通じ、国際交流の進展を図る。 平成28年度は長野県及び須坂市日中友好協会創立60周年という節目の年を迎え、それぞれ記念式典を実施したほか、2020東京オリパラホストタウンに県との共同参加を表明したことで、オリパラを通じ友好都市のみならず、中国全域との交流に発展することが期待される。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加	須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加 県と5市町合同で、中国を相手国とする2020東京オリパラに登録。公民館事業を中心に交流事業を展開した
平成29年度 実績	平成30年度 実績
須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加 日中国交正常化45周年記念中学生卓球交歓大会参加に伴い親善訪問団結成し、友好都市四平市を訪問 四平市親善訪日団の受け入れ	須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加 中学生卓球交流大会に伴う四平市選手団の受け入れ 公民館事業を中心に交流事業を展開した
平成31年度 予定	令和2年度 予定
友好都市締結25周年訪中	未定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		192	1,820
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		192	1,820
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	715.0	715.0
	嘱託職員	575.0	575.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,290.0	1,290.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		1,482.0	3,110.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	21	通訳謝礼13、お土産8
11節 需用費	11	消耗品11
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	90	ホストタウン長野県実行委員会負担金90
その他	70	旅費70

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	180	通訳等謝礼80、記念品代100
11節 需用費	310	消耗品10、食糧費300
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	90	ホストタウン長野県実行委員会負担金
その他	1,240	旅費997、バス借上料243

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	須坂市と友好都市締結がされている	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	各種事業を行い事業の目的を達成することができた	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	最低限の費用で行っている。友好都市締結における申し送り事項として相互受入を可能とする最低限の費用を予算計上しているもの。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

友好都市からの訪問受入を実現できた。ホストタウンとして自主事業のほかに市内を会場とした中核事業に参画するなど役割を果たすことができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>中学生卓球交流大会に伴う四平市選手団の受け入れやホストタウン事業として公民館事業を中心に交流事業を行い、国際交流の推進を図った。</p>		<p>友好都市との交流を深め、国際化に対応した人づくりを推進するため、中学生卓球交流大会の受け入れやホストタウン事業として交流事業を行った。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	